

## 問

第一次産業がかつてないほど混乱した状況下において、意欲ある人が目標を見失い、再生産を放棄せざるを得ない心境に置かれている。意欲ある人が目標を見失うことは、地域経済を脅かすことになる。農林水産振興ビジョン(タフ・ビジョン)の確実な実行、そして守るべきものはしっかりと守る政策が必要であり、地方から声を大にして発信すべきと思料される。市長には、その先頭に立って「農業をしっかりと守る」と宣言していただきたい。

## 答

担い手の育成は非常に重要であることから、今年度は新規就農者や新たな作物に取り組みたい農業者を対象に「遠野ふるさとめぐりスクール」を48名の参加により、11月30

日に開校した。

かつて実施したスイス国農業研修生派遣事業は、意義の大きかったことを改めて認識している。現在心配されるT P Pの動き等を考えた場合、今後、国際感覚を持った農業者育成が必要であると考える。平成23年度当初予算において、農業者等の海外研修制度について検討したい。

スイスにおける農業政策は、わが国においても非常に参考になると思われる。平均農業所得の8割が、連邦政府から直接支払いされ、手厚い農業・農村保護により、農地及び国土が健全に守られ農村が維持されている。

タフ・ビジョンの目指すべき姿には「日本のふるさとが実感されるまち」として「森林や農地の多面的機能が維持され、



# 農林水産振興ビジョンを 基調とした農業を守る合意形成を

菊池 由紀夫 議員 (新興会)

市民協働により農村文化の保存・伝承と、農村景観が保全される」ことの重要性を位置付けしており、農林水産業は本市にとって非常に大切な根幹をなす産業である。

今まで、国や県に對して農業振興策の充実・強化の要望を行ってきたほか、市長会を通じて、要望活動を実施してきた。今後も農業・農村振興の重要性について訴えていきたい。



タフビジョンの確実な実行を

※ T P Pとは…環太平洋戦略的経済連携協定 (Trans Pacific Partnership) の略称